

科目名	地域保健学			分野・必選別・単位数	基礎科目	選択	2単位
担当教員	◎准教授 高橋謙造						
課程	修士	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	地域保健医療体制の現状において、他の職種との協働で病院前救急救護の諸課題をスムーズに解決できるよう、実務者能力を学修する。病院前救急救護活動は、これまでに相当の地域貢献を果たしてきているが、より効率的な施策展開が迫られ、これからは地域、学校、職場等の集団特性の分析結果を基に個別的・具体的な救護活動の樹立、および予防対策の樹立が不可欠である。多職種とのチームワークとしての病院前救急救護活動の概念、あり方を学修する。さらに、近年、提唱された地域包括システムの中で行政展開ができる思考を養う。						
授業の到達目標	①人口動態、疾病統計から望ましい病院前救急救護活動体制のあり方を説明できる。 ②発生地域集団の特性を踏まえた具体的なヘルスケアプロモーション活動(予防救急、応急手当指導等)の展開方策を提示できる。 ③公衆衛生、福祉、医療、保健統計等の概念をベースに、地域包括システムの中で病院前救急救護の責務・役割等を説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	高橋 謙造	准教授	地域保健医療の理解(1) 地域保健医療の概念、健康と疾病、病院前救急救護者の役割を説明できる。			
	2	高橋 謙造	准教授	地域保健医療の理解(2) 地域保健医療の概念、健康と疾病、病院前救急救護者の役割を説明できる。			
	3	高橋 謙造	准教授	地域保健医療の理解(3) 地域保健医療の概念、健康と疾病、病院前救急救護者の役割を説明できる。			
	4	高橋 謙造	准教授	我が国の人口動態と課題(1) 死亡率、周産期、高齢化と病院前救急救護体制の必要性を説明できる。			
	5	高橋 謙造	准教授	我が国の人口動態と課題(2) 死亡率、周産期、高齢化と病院前救急救護体制の在り方を提示できる。			
	6	高橋 謙造	准教授	我が国の疾病発生状況と医療受診行動の概要を説明できる(1)。			
	7	高橋 謙造	准教授	我が国の疾病発生状況と医療受診行動の概要を説明できる(2)。			
	8	高橋 謙造	准教授	ヘルスケアプロモーション活動(予防救急、応急手当指導等)における病院前救急救護者の役割を説明できる(1)。			
	9	高橋 謙造	准教授	ヘルスケアプロモーション活動(予防救急、応急手当指導等)における病院前救急救護者の役割を説明できる(2)。			
	10	高橋 謙造	准教授	場面別ヘルスケアプロモーション活動(予防救急、応急手当指導等)の展開法(1) 学校、職場、老人福祉施設、地域教育への本活動の位置づけ等を説明できる。			
	11	高橋 謙造	准教授	場面別ヘルスケアプロモーション活動(予防救急、応急手当指導等)の展開法(2) 学校、職場、老人福祉施設、地域教育への本活動の位置づけ等を説明できる。			
	12	高橋 謙造	准教授	場面別ヘルスケアプロモーション活動(予防救急、応急手当指導等)の展開法(3) 学校、職場、老人福祉施設、地域教育への本活動の位置づけ等を説明できる。			
	13	高橋 謙造	准教授	地域包括ケアにおける病院前救急救護者の役割を説明できる(1)。			
	14	高橋 謙造	准教授	地域包括ケアにおける病院前救急救護者の役割を説明できる(2)。			
	15	高橋 謙造	准教授	講義の振り返りとまとめ			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	救急・救助の現況(消防庁)から授業関連内容(疾病別、程度別、年齢別、対象別)を把握しておくこと。国民衛生の動向(一般財団法人 厚生労働統計協会)から授業関連内容を把握しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・シンプル衛生公衆衛生学2018(南江堂) ・地域医療と暮らしのゆくえ(医学書院) 						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・救急・救助の現況(消防庁) ・国民衛生の動向(一般財団法人 厚生労働統計協会) ・End-of-life care bonus promoting end-of-life care in nursing homes: An 11-year retrospective longitudinal prefecture-wide study in Japan.(履修者に論文送付) 						
成績評価の方法および基準	授業中の発言・発表・討議50%、課題レポート50%						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						